



2015年度 通期決算の概要

2016年5月18日





売上

光部品を中心に好調に推移、前年比21.7%増

- 光部品 1,743百万円 前年度比 63.9%増
- 光測定器 1,629百万円 前年度比 0.6%減
(Laser 22.9%増 OCT 23.4%減)
- システム・ソリューション 469百万円 前年度比 3.8%増

損益

投資有価証券売却益430百万円による利益増

- 営業利益 317百万円 前年度比 80百万円増
- 経常利益 296百万円 前年度比 127百万円減
- 当期純利益 525百万円 前年度比 71百万円増

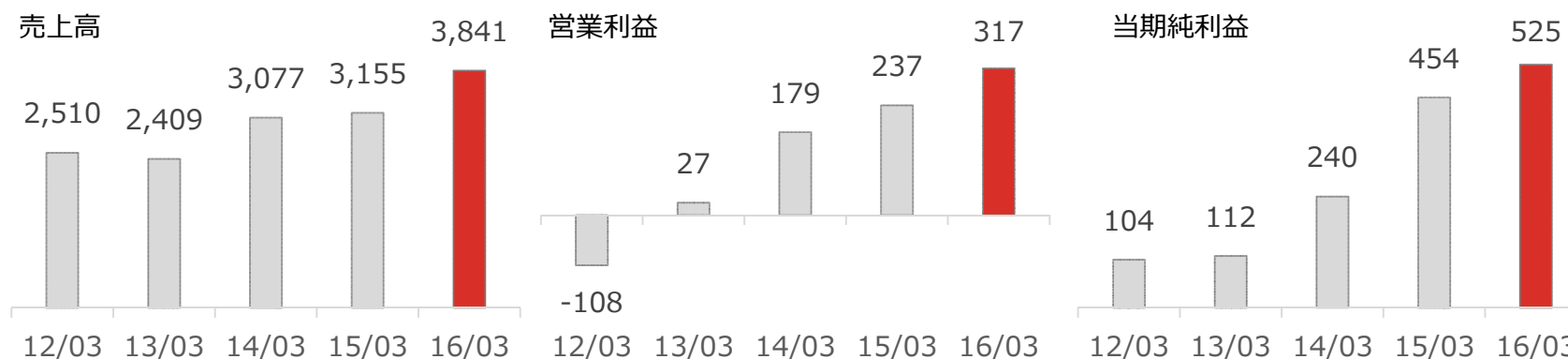
2015年度 損益実績 (連結)



前年比 增收増益
為替差損発生により経常利益減少

(単位：百万円)

	2014年度 通期		2015年度 通期		対前期増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
売上高	3,155	100.0%	3,841	100.0%	686	21.7%
売上総利益	1,579	50.0%	1,829	47.6%	249	15.8%
営業利益	237	7.5%	317	8.3%	80	33.8%
経常利益	424	13.4%	296	7.7%	▲ 127	▲ 30.2%
当期純利益	454	14.4%	525	13.7%	71	15.8%



2015年度 資産、負債及び純資産の状況（連結）



投資有価証券売却及び円高による資産の目減り

(単位：百万円)

	2014年度末	2015年度末	対前期末 増減
流動資産	3,856	3,886	29
固定資産	5,316	4,995	▲321
総資産	9,173	8,881	▲291
負債合計	1,201	1,126	▲75
純資産合計	7,971	7,755	▲216
負債・純資産合計	9,173	8,881	▲291

■ 自己株式の取得

取得した株式の総数

200,000株

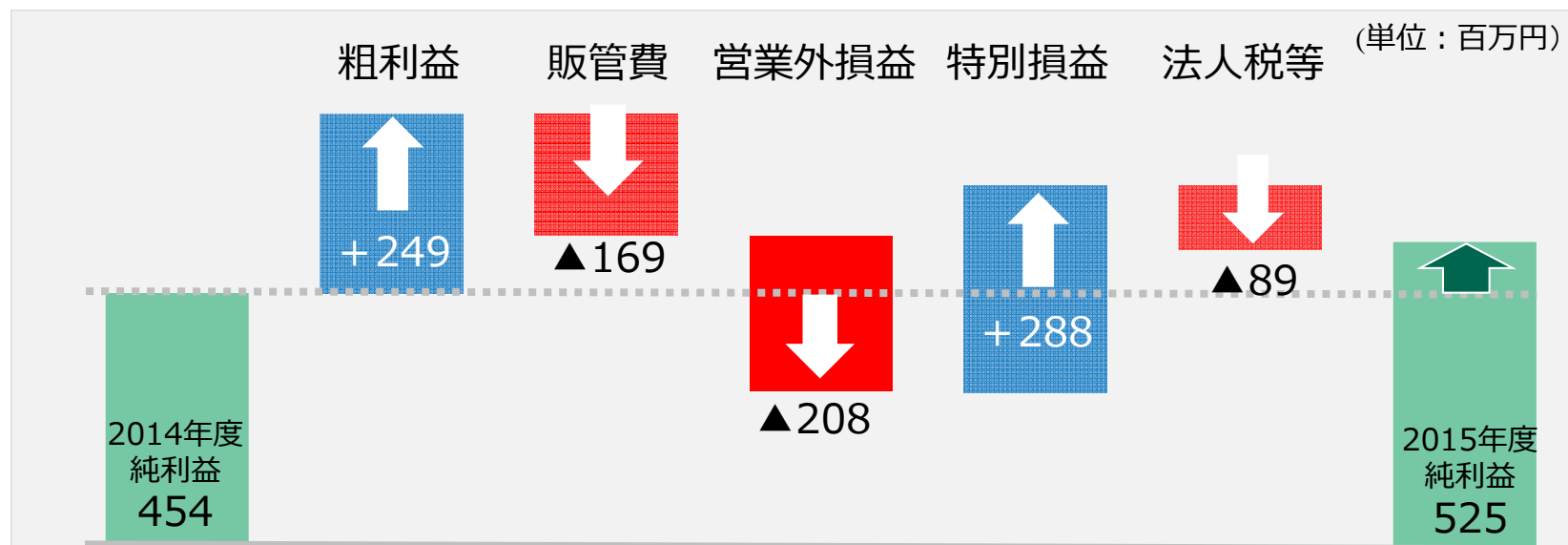
取得価額の総額

97,075,500円

当期純利益の前年度対比



売上増と特別利益により、純利益15.8%増



粗利益	
売上増	+686
原価増	▲436

販管費	
人件費	+64
経費	+65
開発費	+39

営業外損益	
為替差損益	▲106

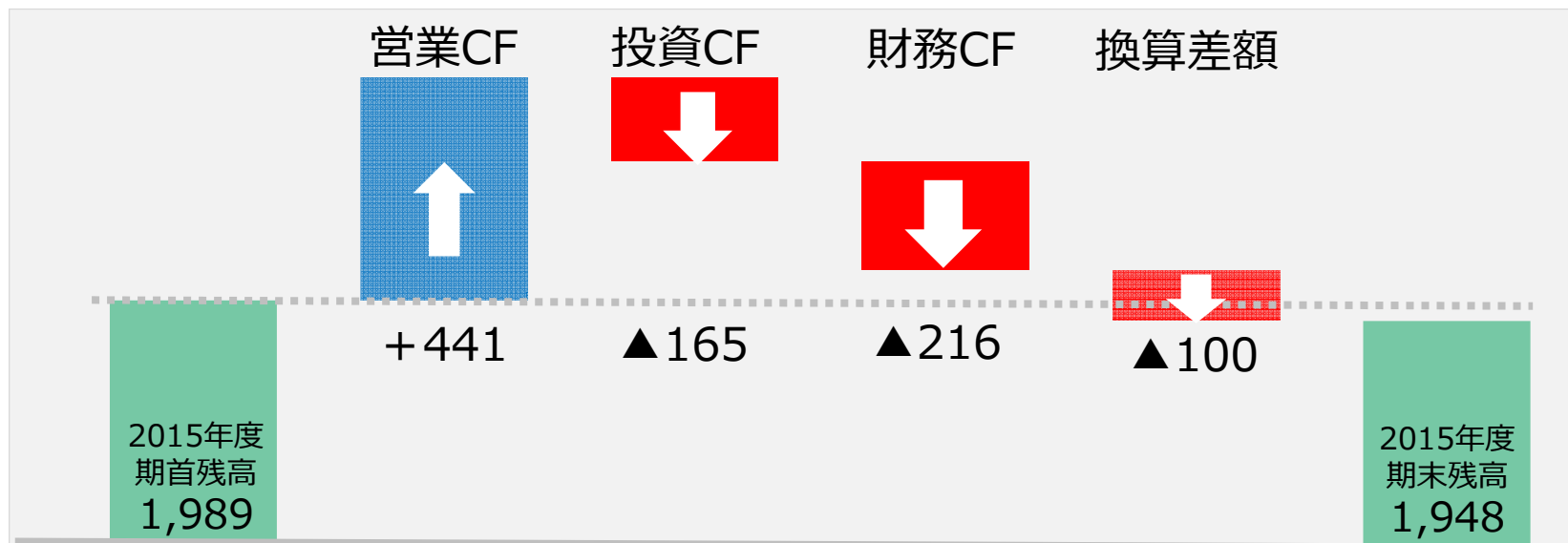
特別損益	
投資有価証券 売却益	+430

法人税	
法人税等	+89

キャッシュ・フロー



2014年度	営業CF +488	投資CF ▲375	財務CF ▲72	換算差額 +121	(単位：百万円)
--------	--------------	--------------	-------------	--------------	----------



営業CF	
税前当期純利益	+701
減価償却費	+146
投資有価証券売却益	▲430
その他	+23

投資CF	
投資有価証券取得	▲874
投資有価証券売却・償還	+848
その他	▲138

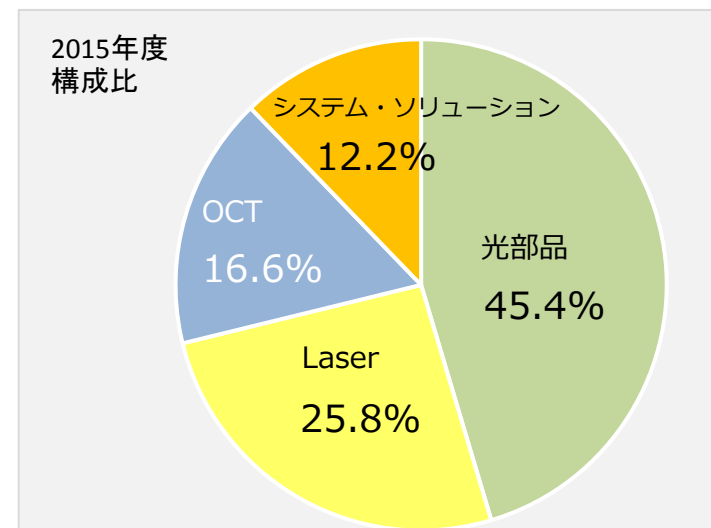
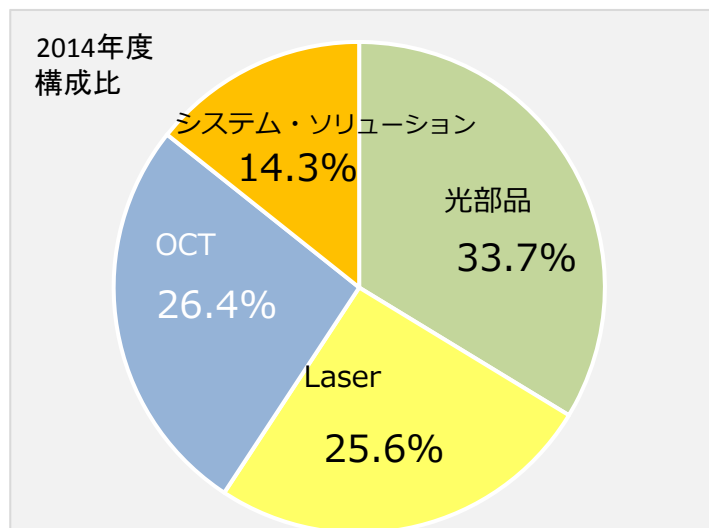
財務CF	
配当金支払	▲119
自己株式取得	▲97

事業別売上高 (連結)



(単位：百万円)

	2014年度	2015年度	対前期増減		概況
			金額	増減率	
光部品	1,063	1,743	679	63.9%	北米向けIPD中心に販売好調
光測定器	1,640	1,629	▲10	▲0.6%	
Laser	806	990	184	22.9%	TSLシリーズ、海外で販売好調
OCT	834	638	▲196	▲23.4%	日本で売上減少
システム・ソリューション	451	469	17	3.8%	PC遠隔操作ソリューションの更新ビジネス安定
合計	3,155	3,841	686	21.7%	





新分野成長基盤確立とグローバル営業推進強化

(単位：百万円)

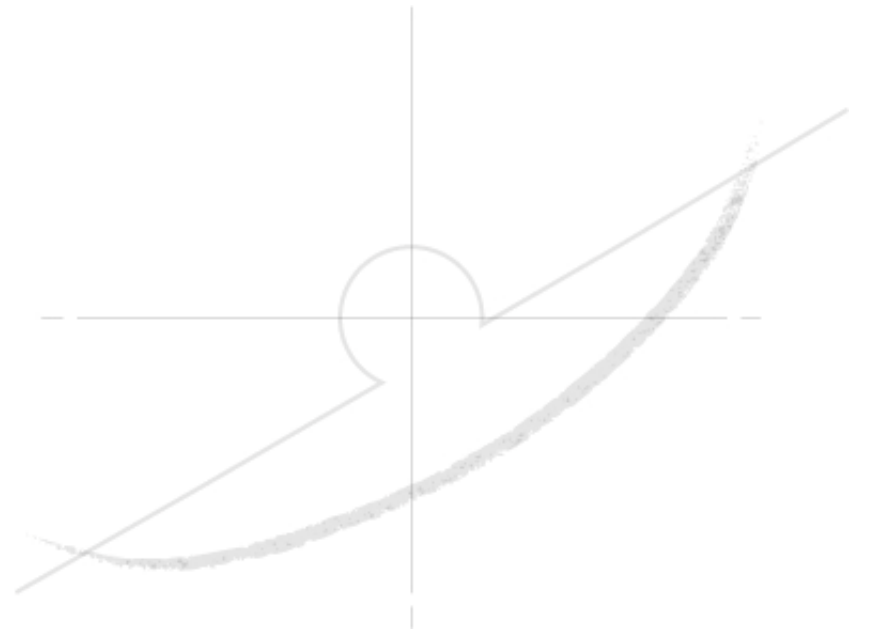
	2015年度 通期実績		2016年度 業績予想		対前期増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
売上高	3,841	100.0%	4,150	100.0%	309	8.0%
営業利益	317	8.3%	350	8.4%	33	10.4%
経常利益	296	7.7%	420	10.1%	124	41.9%
当期純利益	525	13.7%	340	8.2%	▲ 185	▲ 35.2%
年間配当 (円)	14	(*内、4円は特別配当)	10		▲ 4	

■ 米ドル想定為替相場

2016年度（平成29年3月期）における米ドル為替相場は、「期中平均110円」と予想しております。



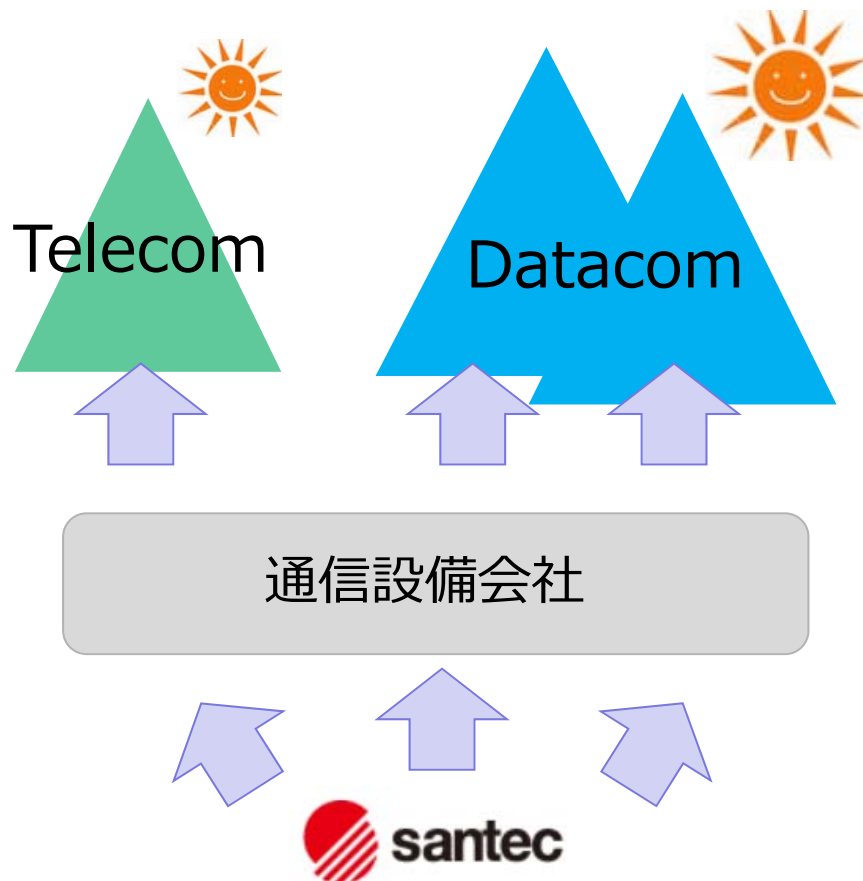
市場動向と当社の事業戦略





Market

テレコム→データコムへ 北米比較的好調



光通信以外の市場へ向けて

光部品で培ったLCOS技術を利用して、SLM*を販売しております。



(* SLM : Spatial Light Modulator 空間光変調器)



SLMの技術を活かした波長イコライザ。天文観測分野で観測精度向上に貢献。

(上記製品名：波長イコライザ (λEqualizer))

今期の戦略

新規顧客のニーズを的確に捉え、新製品展開につなげる



Market

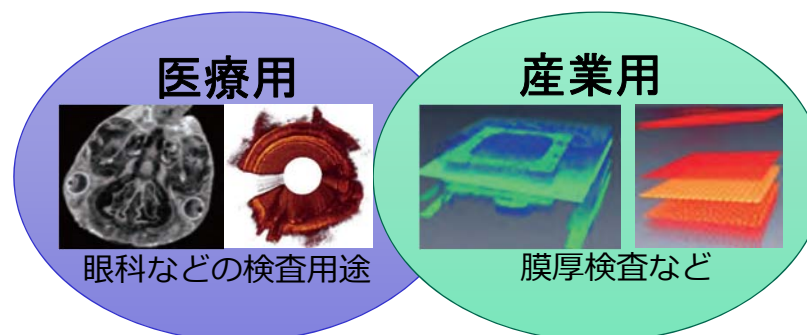
欧米の需要比較的好調。測定器はシリコンフォトニクス企業へ

光測定器



光源開発のための技術力強化
製品のラインアップの増強

OCT



OCTの可能性を追求：産業向けOCTにも注力

シリコンフォトニクス関連企業への営業強化

需要の拡大しているシリコンフォトニクス
関連企業のニーズを捉え、受注につなげる

(シリコンフォトニクス:シリコン光集積回路の技術体系)



Advanced Optical Biometer
「ARGOS」
(眼軸長測定器)

欧米で販売開始

今期の戦略

開発技術力の強化と新分野、新顧客への営業拡大

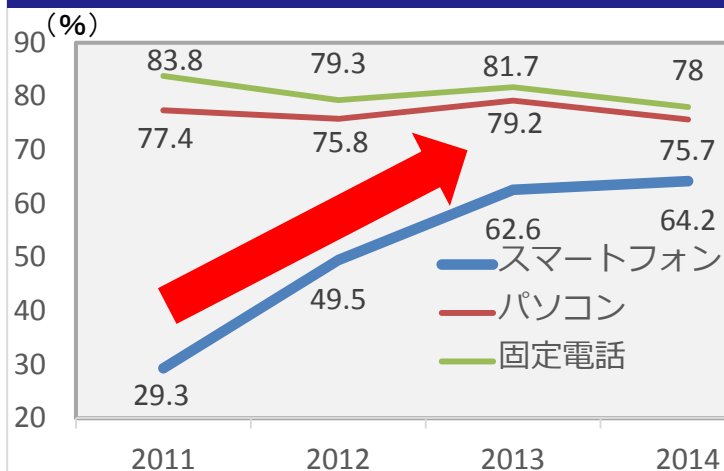
システム・ソリューション市場の状況



Market

PC→モバイルへ 変化に応じたサービス必要

スマホ普及率の推移 (日本)



(出典)総務省「平成26年通信利用動向調査」

スマホ利用の大幅な拡大

- × 入力の不便さ
- × セキュリティーの心配



RSupは国内シェアNo. 1
高品質なサービスで
安価な競合品と差別化

Rview引き続き好調
システム管理者目線
の機能が好評



スマホ対応の入力修正

新感覚な
入力の修正を提案



スマホ時代のセキュリティー

眼の血脈を利用したスマホ
での生体認証システム

今期の戦略

お客様目線のサポートで差別化 + 新商材の市場投入



本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果はこれらの見通しと異なる可能性がありますことをご了承ください。

本資料に関するお問合せ先

santec株式会社
業務部 次長 山下 英哲
電話 0568-79-3535 (代表)
URL: <http://www.santec.com/jp>

〒485-0802
愛知県小牧市大草年上坂5823
フォトニクスバレー 大草キャンパス